

北秋田市長 津谷永光 様

森吉山の価値と未来を考える会
代表 宮野貞壽

奥阿仁マタギの里にぎわいプロジェクト
代表 鈴木兼芳

要 望 書

2022 年 6 月 14 日 環境省発表
国立・国定公園総点検事業フォローアップに係る
森吉山国定公園新規指定の選択と
阿仁川流域拡張地域に係る住民説明会の開催について

2025(令和 7)年 7 月 30 日

＜事務局＞

〒0186-4302 北秋田市浦田字浦田 65 番地（NPO 森吉山ネイチャー協会内）
電話：0186-73-2510
E メール moriyoshizan@kumagera.ne.jp

要望主旨

私達は、国立・国定公園総点検事業の環境調査を加速させるため、環境大臣に要望書と画像資料を提出(2023. 11. 18)し、東北地方環境事務所(以下、環境事務所)と公園区分の選択、具体的な拡張地域、核心部の地種区分格上げ協議を重ねてきました。

一昨年来要請していた現地合同視察(東北環境事務所、森吉山の価値と未来を考える会、奥阿仁マタギの里にぎわいプロジェクト)を令和7年6月25日に実施しました。

同行した国立公園課 課長補佐 丸山 永 氏は、私たちの要望事項に対し森吉山の公園区分は国定公園の新規指定を検討する。森吉山県立自然公園の核心部の地種区分の格上げを行う。拡張地域は太平湖全集水域、森吉山西麓の国有林と社有林に加え、阿仁川流域と内陸線沿線の里地里山も自然公園の核心部の緩衝地域(バッファゾーン)として組入りたい。との方針を示しました。

環境事務所は秋田県・北秋田市の要望活動に加え環境事務所への市職員派遣協力も得て、森吉山麓の環境調査は精力的に進めることができた。その成果として「森吉山国定公園の新規指定作業は、2030年を待たず早期の指定を目指したい」とのことです。

残された課題は、森吉山麓全集水域(小又川、阿仁川、小様川、荒瀬川、根子川、鳥坂川、比立内川、打当川)の里山景観保全の取り組みや観光資源の掘り起こしを行い、何処まで組み入れするのか。環境省の最終決定を得るため、利害関係者(特に対象私有地の組入れ)の事前合意を得ておくことが求められます。

北秋田市においては、調査結果の方針を担保するため、今後の森吉山国定公園の利用の増進に係る想定される利用形態を明確に示した、住民説明会等を開催されるよう特段のご尽力をお願いするものです。

要望事項

- (1) 北秋田市は環境事務所の方針に基づき、森吉山国定公園の選択を決定すること。
- (2) 環境省に対し、原始的な自然環境に隣接する阿仁川流域と内陸線沿線の良好な里地里山の公園組入れを具現化するため、森吉山ジャパンエコトラックの付加価値を高める、想定される利用形態を示した要望書の提出をお願いします。
- (3) 森吉山全集水域に係る私有地、入会地、財産区、他関係団体を対象に、国定公園新規指定(普通地域)の合意を得るため住民説明会を開催されたい。
- (4) 県・市・環境省・要望団体を含めた、森吉山公園計画策定協議会(仮称)を発足されたい。

2025 年 6 月 30 日 環境省発表

国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地の調査報告について
＜森吉山国定公園新規指定の課題と阿仁川流域の利用施設計画の提案＞

1. 環境省調査報告書のまとめ

(1) 拡張地域全体について

① 太平湖の全集水域

- ・拡張地域に入れる方針で東北森林管理局との調整を図る。

② 小又川、阿仁川、打当川等と内陸線沿線の里地里山

- ・拡張地域に入れる方針で地権者との調整を図る。
- ・秋田県や北秋田市の協力が必須。

③ 森吉山阿仁スキー場エリア

- ・拡張地域に入れる方針で東北森林管理局との調整を図る。
- ・閣議決定により、森林管理局(国有林野)の協力体制は整っている。

④ 森吉山麓の古河林業社有林(ブナ林)の公園拡張手順

- ・古河林業社有林が所有する広大なブナ林は、森吉山本体の核心部を形成し、森吉山を訪れる人の眺望メインルートになっており、利用面でも重要な地区と考えている。
- ・最低でも第二種特別地域に組み入れる方針で地権者と調整を図りたい。

(2) 森吉山県立自然公園の公園区分の選択肢と地権者との調整

① 公園区分の選択は地域の意向(同意)と熱意

- ・日本は公園区分によって行政的管理責任者が異なるため、県立自然公園(県条例)の行政的管理運営に関し、環境省は指導する立場にない。
- ・公園区分の選択は、地域の意向と熱意が尊重される。

② 30by30 に伴う拡張地域と地種区分の調整は

- ・環境調査と地権者(国有地、県有地、財産区、社有地)との調整は、環境省が行う。
- ・県有地、私有地、入会地、財産区等の調整は、県や北秋田市の協力が必要になる。

③ 森吉山の国定公園新規指定のスピード感は

- ・森吉山県立自然公園(15,214ha)は、単独で国定公園の面積要件(10,000ha以上)を満たし、北秋田市単独の自然公園であるため、スピード感をもって進めたい。
- ・利害関係者の範囲が影響することもあるが、森吉山の環境調査は先んじて進んでいる。本省が方針を決定すれば2030年を待たず新規指定を完了したい。

(3) 内陸線沿線と阿仁川・小又川流域(里地里山)の自然公園拡張手順

「森吉山の価値と未来を考える会」、「奥阿仁マタギの里にぎわいプロジェクト」が要望した拡張地域(案)は、環境省も選定要件に掲げる、「人の営みが里山の景観を造り上げた集落や里地里山の二次的自然環境(風土)」の組入れ対象として調査した。

① 環境調査の評価

- ・小又川、阿仁川、打当川流域等は環境調査によってもその資質が評価されている。
- ・特に、幸屋集落、根子集落、根森田集落の里地里山環境は資質の高い地域である。

② 地種区分は

- ・内陸線沿線と小又川、阿仁川、打当川流域等の里地里山は、他の国立・国定公園のように居住空間や農林業に影響を及ぼさない、**特別地域の緩衝地域(普通地域)**であれば、**地権者の概ねの同意をもって地域指定を進めることができる。**

※**普通地域(緩衝地帯)**とは：特別地域以外の区域を言い、例えば地形、地貌その他自然景観上特別地域と一体をなす地域内の集落地、農耕地、森林、海域等であって、景観の維持を図る必要性は特別地域ほど高くはないが、風景の保護を図る必要がある地域です。

※**普通地域の規制**は：居住環境、農林業、内水面漁業等に支障を及ぼすことはなく、一定の基準を超えた工作物や開発行為等に関し、届け出制を執っています。

③ 利害関係者等への説明会

- ・**利害関係者が多くなるので、地権者や自治会等の説明会開催は北秋田市の協力をお願いしたい。**
- ・環境省も地権者や利害関係者及び自治会等の説明会に出席し助言したい。
- ・不同意の地区は指定から除外することになる。
- ・北秋田市や関係者の意向をもとに、現地視察を重ね拡張地域を定めたい。

2. ぐるっと森吉山ジャパンエコトラック推進の利用施設計画の提案

北秋田市が掲げた森吉山ジャパンエコトラックの推進は、私達が30年来思いをはせてきた森吉山麓の壮大なる遊び場作りを形にしてくれました。環境事務所も阿仁川流域の里地里山の拡張とその利用構想において高い評価をしております。

これまで、阿仁川全集水域の里地里山構想を中心に環境事務所と確認できた要点と課題を以下にまとめました。森吉山ジャパンエコトラックの付加価値を高めるため、今後、秋田県と北秋田市の共同作業となる公園計画(事業計画)策定に私たちの思いを組み入れて頂くようお願いします。

(1) 奥森吉小又川エコトラック (片道 30 km)

(阿仁前田温泉駅～根森田集落～四季美湖～森吉山荘～太平湖 G ハウス～小又峡)

- ・奥森吉小又川エコトラックは、阿仁前田温泉駅を起点に、小又地区の七角山・昼様山と森吉山をスカイラインに置き、根森田集落～森吉山ダム(四季美湖)から小又川のV字溪谷沿いを走り、森吉ダム(太平湖遊覧)と小又峡散策を目指す自然度満載のルートです。

① 阿仁前田温泉駅と周辺

- ・温泉と宿泊機能を備えた阿仁前田温泉駅を、エコトラックの行動拠点に造り替える。
 - プラットフォームにビジターセンター機能を加える。
 - 宿泊客数拡大のリニューアルを行う(和室と大広間の細分化)。
 - 温泉駅への大型バス導入路を、堤防敷を拡張し小又大橋に連結する。

② 根森田集落～四季美湖～森吉山荘周辺

- ・根森田集落からパドリングスポーツエリアの四季美湖を跨いで、V字溪谷の絶景区間を走る小又川トラックは、深山幽谷へのアプローチラインである。

- フォトリッカーの撮影ポイントに、既存の駐車場や停車帯を再整備する。
- 森吉山荘の再開のため温泉ボーリングを行う。
- 湯ノ沢地区を集団施設地区に再指定し、旧湯ノ岱キャンプ場跡地から森吉山荘周辺を小又川親水ゾーンに造り替える。
- 森吉山荘を中心に白糸の滝と小又川を周回する 1.5 km の散策歩道を整備する。

③ 太平湖グリーンハウス

- 送電線の早期復活を図る。
- グリーンハウスのリニューアルと屋上展望デッキを整備する。

(2) 阿仁川エコトラック（片道 36 km）

（阿仁合駅～根子集落～幸屋集落～道の駅あに～マタギの湯～奥阿仁の名瀑群）

- ・阿仁川エコトラックは、同じく阿仁前田温泉駅や阿仁合駅を行動拠点に、国道 105 号と沿線集落の市道を交えて「道の駅あに」を経由し、中ノ又溪谷の安の滝や立又溪谷の三爆を目指すルートです。
- ・阿仁川と並走するスマイル列車が渡る 13 の橋梁は、四季を通じて撮り鉄達が集う撮影ポイントです。
- 5 箇所の駐車場を整備(小様川橋梁・鳥坂川橋梁、幸屋集落内)する。

① 幸屋集落と幸屋橋～幸屋大橋周辺

- ・阿仁川は阿仁合駅を通過すると段丘河川の深い溪谷の様相に変わる。里山から流入する小沢は全て小滝となって阿仁川に注ぐ。特に幸屋橋から幸屋大橋(高さ 36m)間の 4 箇所の小滝と段丘河川を囲む幸屋集落の里山風景は、湯沢市の小安峡や仙北市の抱帰り溪谷を凌ぐ景観美を誇る。
- ・幸屋大橋の出入口に立地する賢龍ノ滝が隣接する耕田寺の御朱印発行があれば、観光資源の掘り起こしに寄与するであろう。
- 段丘河川に降りて周回する約 500m の河川歩道を整備する。

② 比立内橋梁に展望周回歩道を整備

- ・「道の駅あに」真後ろに架かる比立内川橋梁は、打当川と合流する奥阿仁マタギ街道の起点であり、新牛滝橋や牛滝橋からの溪谷美とスマイルレールの撮影ポイントが集中する地区です。
- ・この一帯は比立内川橋梁に展望歩道を整備して巡ることができれば、「道の駅あに」に人を呼び込む観光スポットの出現になるであろう。
- ・単独の吊り橋整備と建設費と比較すれば、展望歩道の費用対効果は絶大である。
- 「道の駅あに」から比立内川橋梁に直接アプローチする歩道と比立内川橋梁本体に展望歩道を整備し、対岸の打当川に架かる羽立橋に歩道として連結する。
- 更に羽立橋から、打当川と比立内川と阿仁川の起点に降りる河川歩道を 3 方向に 150m 整備し、橋梁と河川から上下の眺望を楽しむ。
- 比立内川の新牛滝橋から牛滝を巡るルート拡大への相乗効果は大きい。
- 比立内地区と幸屋地区の周遊エコトラックの中心を「道の駅あに」にする。

（３）打当川・比立内川エコトラック（片道 17 km）

（道の駅あに～比立内川牛滝橋～マタギ資料館～奥阿仁名瀑群）

- ・奥阿仁の打当川エコトラックは、比立内川の牛滝橋を周回し段丘河川の打当川溪谷と並走するスマイル列車をスナップしながらマタギの里の名瀑群を目指します。
- ・打当川溪谷はグリーンタフ（緑色凝灰岩類）の基盤に森吉山の噴火物が重なり、里山集落と同化した段丘河川の溪谷美は「奥阿仁ジオパーク」にふさわしい。

① マタギ街道の歩道整備

- 道の駅あにから打当温泉まで、県道に旧道や旧森林軌道を組み入れた延長 8 km の歩道を、打当川の段丘渕沿いに整備する。
- 8 km の内、約 1.5 km は溪谷に降りて歩く河川歩道として整備する。
- 歩道からは溪相が展望できるように、森林整備を行う。
- 河川歩道に降りる景勝ポイントは、
 - ・早瀬沢橋梁：打当川に合流する早瀬沢に架かる橋梁は深山幽谷の撮影ポイント。
 - ・大曲：グリーンタフの奇岩を抱き込み溪谷は U 字状に流れを変える。
 - ・小倉沢の 2 滝：小倉渕と県道を挟んで連なる落差 10m の段瀑。
 - ・小倉渕の滝：打当川に交わる段丘瀑布は
 - ・奇渕：溪谷の幅が 1.5m に狭まった水深 4m の深渕プールの真上を列車が走る。
 - ・打当内沢合流点：旧遊園ガーデンを再整備し打当川と一体的な歩道を整備する。
 - ・阿仁マタギ駅裏の吊り橋をかけ替える（冬季間は地域住民が維持管理している）。
 - ・阿仁マタギ駅裏の旧森林軌道敷や農道から打当川第一橋梁まで歩道を整備する。

② 打当川第二橋梁に展望歩道を整備

- ・打当川エコトラックの中間点当たる奥阿仁駅から第二橋梁までは 150m である。
- ・更に小倉渕の滝までは 200m。奇渕は第二橋梁の直下に降りる。
- ・第二橋梁の陸橋下部は駐車場、トイレ、休憩売店スペースが取れる。
- 打当川第二橋梁は展望歩道の整備にふさわしい条件が揃った場所である。

③ 野尻集落

- ・県道の対岸に位置する野尻集落は、打当川に架かる野尻橋からの景観も含めて、集落全体が森吉山の全容を望む撮影ポイントです。
- 集落の一角に駐車場を整備する。

④ 源流米の棚田

- ・標高 350m の森吉山の山腹に開拓された 40ha の棚田は、東に森吉山頂と戸島内や中村集落を眺望する展望地は、山間地特有の朝霧や雲海のビューポイントです。
- 既存の展望スペースを再整備する。

⑤ 中村打内集落と秋田県水産振興センター内水面試験池＞

- ・中村打内集落は、マタギ街道から集落の古民家と内水面試験地を挟んで、森吉山南麓を一望できるロケーションが売りである。
- ・また、同地区は打当温泉から中村打当登山口へのアプローチになっています、
- ・内水面試験地は、森吉山の懐を発する打当内沢の豊富な伏流水を活用し、サクラマス、ヤマメ、イワナなどの飼育試験や河川調査を行っています。

- 旧遊遊ガーデンを森吉登山とエコトラックの中継点として復活させる。

- 内水面試験池を教学施設として見学ルートに入れる。

⑥ 打当温泉マタギの湯

- ・温泉と宿泊機能を備えた打当温泉をエコトラックの行動拠点に造り替える。

- 「くまくま園」や打当温泉一帯を集団施設地区に指定する。

- ビジターセンターを併設した宿泊キャパ拡大のリニューアルを行う。

- 安の滝トレッキングが集中する錦秋期のシャトルバスターミナルを整備する。

（４）共通の利用施設計画

- 総合案内版や標柱等は、全て QR コードの情報提供を組入れる。

- 奥森吉・奥阿仁源流域の事故・遭難等の即応体制をとるため、携帯電話の中継機を整備する。

3. 環境省が注目する公園利用計画

（１）自転車と鉄道で巡るサイクリングライフの推進

- ・秋田内陸循環鉄道株式会社は、奥阿仁地域の伝統的なマタギ文化に象徴する里地里山をバックボーンに、秋田内陸線を利用した「マタギの里にぎわいプロジェクト」との一環として、自転車と鉄道で巡るサイクリングライフによるフットパスなど、独自の集客事業を展開している。

（２）森吉山ジャパンエコトラックの推進

- ・北秋田市は、全国で 41 番目の森吉山ジャパンエコトラック指定を契機に、森吉山を中心とした多彩な自然を感じる 14 ルートを周遊する着地型公園利用を推進している。

（３）阿仁川フィッシングリゾートの推進

- ・阿仁川漁協は、阿仁川水系のサクラマスやアユ釣りが有名であり、入漁券付き釣り道具を貸し出すフィッシングリゾートを目指している。